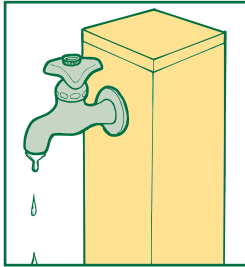
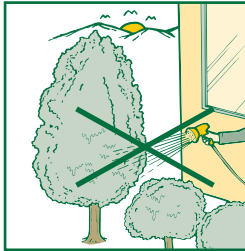


夜間、凍りそうなきときは

●蛇口からほんの少しずつポタポタとたれるくらいに水を出しておくか、逆にあらかじめ元水栓を開けてから水を抜いておくかしておく、ある程度は防げますが、水をポタポタ出しておくのは不経済で、あまり温度が下がるとそれでも凍ってしまいますので、そのときの冷え具合で水を抜くか、ポタポタたらしておくか考える必要があります。

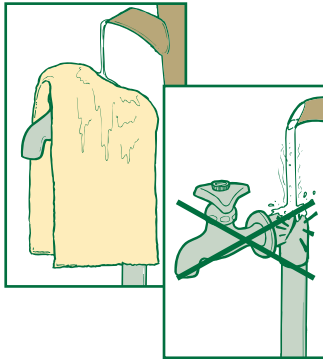


●夕方、庭や家の前の道路に水をまかないようにしましょう。蒸発する前に凍ってしまっ、庭の植物にダメージを与えたり、道路では凍ってしまっ、スリップ事故を引き起こす可能性があります。



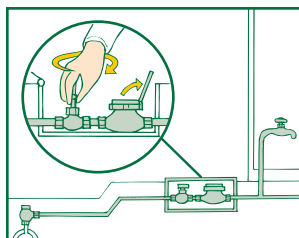
水道管が凍ってしまったら

自然に解けるのを待つか、蛇口や水道管にタオルをかぶせてから、ぬるま湯をゆっくりとかけて氷を解かしてください。すべて凍ってしまっどこからも水が出ないときもありますので、凍りそうな寒い夜はお風呂の残り湯を利用できるように、お湯を抜かないようにしておきましょう。熱湯を急激にかけると、水道管や蛇口にヒビが入り、解けたときに破裂して大あわてしなくてはなりませんので気を付けてください。

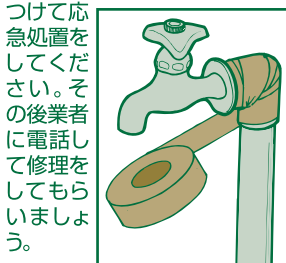


破裂したら

1 まずメーターボックスの止水栓を締めて、水が出ないようにします。



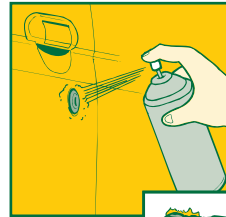
2 ヒビ割れたり、破裂した部分に布や保温テープを巻きつけて応急処置をください。その後業者に電話して修理をしましょう。



ここがポイント!

車の凍結対策

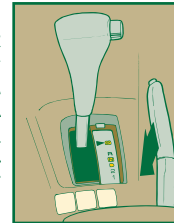
●ドアのキーの差しこみ穴にあらかじめ解氷剤をスプレーしておきましょう。もし凍ってしまっキーが差しこめない場合は、解氷剤をスプレーしてしばらく待つか、キーをライターなどで暖めて、キーの穴に差しこんでください。何度かやっているうちに解けます。



●寒冷地で使う車のオイルは寒冷地用の、低温に強い100%化学合成オイルに入れ替えておきましょう。



●スキー場で駐車しておく場合は、サイドブレーキは引かないで、シフトを、オートマチック車ならPレンジで大丈夫ですが、マニュアル車はバックかファーストに入れておきましょう。(しかし翌朝、始動するときは必ずニュートラルに戻すか、クラッチペダルを踏んでからエンジンをかけるようにしてください)



サービスのご案内



配達・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

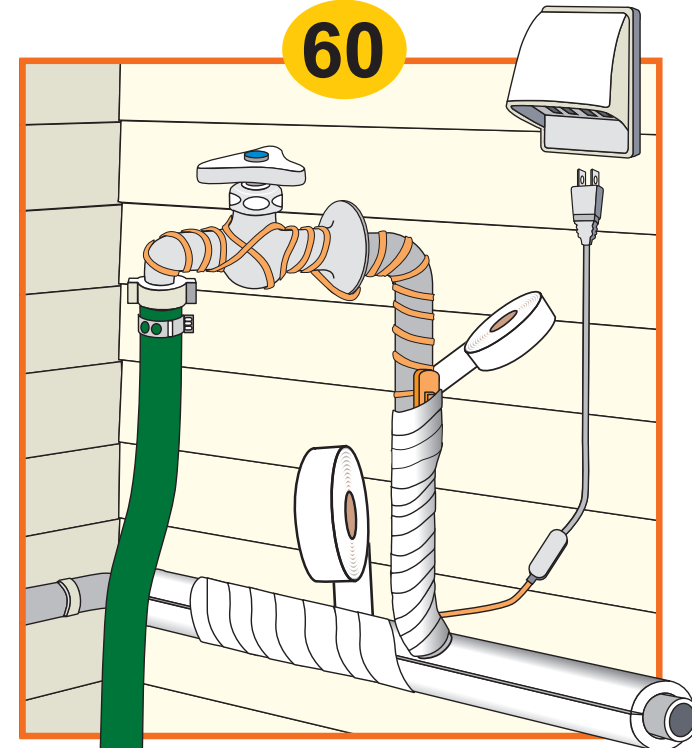
©無断転載は禁止します

水道管の凍結防止

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

60



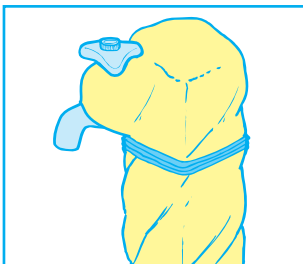
水は凍ると体積が増えます。真冬に急に冷えこんだりすると水道管の中にある水が凍り、体積が増えた分水道管の中から圧力がかかり、悪くするとヒビが入ります。それがお屋敷、少し暖かくなると凍った水が解けだして、はじめて水道管に亀裂が入っていることに気づき、大あわてという、毎年どこかで見かける光景になります。水があふれる頃外出して、帰ってみると水浸し、という悲劇もたまに耳にしますが、こんなときに凍結を防止する策を講じておけばよかったのにと、つくづく思います。凍結防止をしておけば、水道管も破裂することはありませんし、冷たい真冬の朝でも水やお湯が使えます。いろいろな凍結防止の方法を紹介しますので、役に立ててください。

Do it Yourself & Save

水道管の凍結防止方法のいろいろ

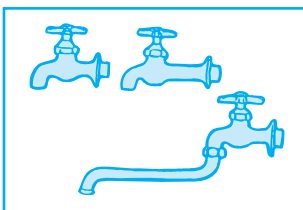
外水栓の蛇口

1 蛇口の水の出口とカランだけを残して他は毛布や布の切れはしを巻きつけて、ひもでしばり、ほどけないようにしておきましょう。



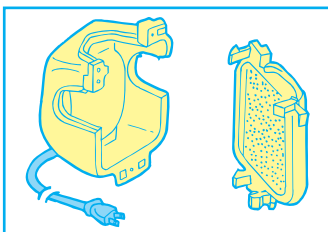
2 蛇口凍結防止ヒーターをつけましょう。

JIS規格の横水栓、胴長横水栓、自在水栓の3種類の蛇口に取り付けできます。(この3種類以外の水栓には取り付けできませんので注意してください)

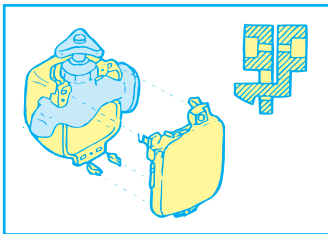


○無風状態で約-20℃まで凍結を防ぎます。
<取り付け方>

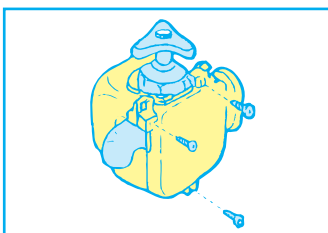
1. 蛇口にケースの本体を取りつけ、仮止めフックをケースの本体のフック穴に差しこんで、ケースのフタを仮止めしてください。



2. ケースのフタのネジ穴から付属のネジを通して、ネジを締めます。(ケースの本体とケースのフタがきちんとしまっていないと、凍結防止の効果が低くなりますので、しっかりとネジを締めるようにしてください)



3. さしこみプラグを外部コンセントにさしこみます。



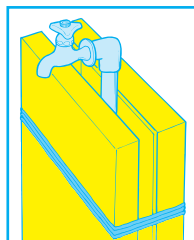
※サーモスタット装置はついていませんので、必要のないときはプラグを抜いておいてください。電気代の無駄になります。

むきだしの水道管

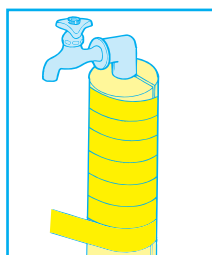
1 古い毛布やわらなどを巻きつけます。



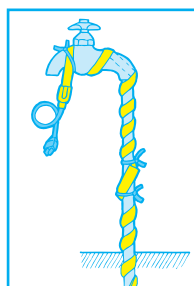
2 むきだしになっている部分を、冷凍食品の配送等に使用される発泡スチロールで囲み、ひもで縛りつけておくだけでも、寒風を避けることができますので、ある程度の効果があります。



3 専用の保温材(パイプカバー、スチロールカバー、パイプガードカバー等)でカバーして、保温テープで巻きつけてください。配管の曲がっている部分には専用の保温材(エルボカバー、T字カバー)もあります。



4 サーモスタット付の水道管凍結防止帯を巻きつけておきましょう。



<取り付け方>

1. ヒーターを水道管に巻きつけます。

2. 巻きつけたヒーターの上から保温材を巻いていきます。それからプラグをコンセントに差しこんでください。ヒーターの中ほどにあるサーモスタットが水道管の温度を感知して、凍結しないように自動的にヒーターをコントロールします。

○凍結防止帯の使う場所の最低気温、管の太さ、保温材の材質や厚さによってヒーターの長さが変わりますので、下記の表を参考にして選んでください。

管1m当たりのヒーターの必要な長さ

使用場所の最低気温	管径	管1m当たりのヒーターの必要な長さ		
		15mm	20mm	25mm
-5℃	保温材の厚さ	管1m当たり	管1m当たり	管1m当たり
	2mm	1mm	1mm	1mm
-10℃	10mm	1mm	1mm	1mm
	2mm	1.5mm	1.8mm	2.2mm
-15℃	10mm	1mm	1mm	1mm
	2mm	1.8mm	2.2mm	2.7mm
	10mm	1mm	1mm	1mm

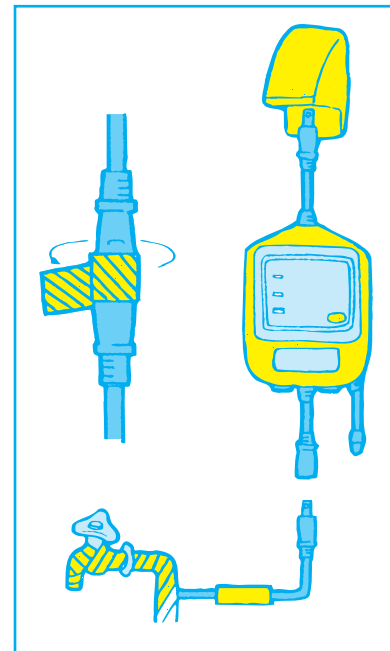
防水分岐コード(水道凍結防止帯節電装置)

水道凍結防止帯のプラグにつなぐと、ヒーターチェック機能が働いて、電気代が通常の10分の1になります。

●通電中
外気温が下がり、節電装置が通電しているときは赤ランプが点滅するか点灯します。

●ヒーターチェック中
通電中は他に黄色のランプが点滅か点灯しなければ水道凍結防止帯の断線か、温度センサーの故障です。水道凍結防止帯の修理が交換をするようにしてください。

※緑色のランプは電源が入っているときに点灯します。



メーターボックス

メーターボックスの中も凍ることがありますので、布や荷造り用の発泡スチロールを、濡れないようにビニール袋に入れてからメーターボックスの中に敷き詰め、保温するようにしましょう。検針できるように、メーター部分は見えるようにしておいてください。

